



## 令和7年度 伊豆縦貫自動車道等の促進大会 主な発言



伊豆縦貫自動車道と東駿河湾環状道路は、本県にとって、東名・新東名と一体となって広域的な道路ネットワークを形成する極めて重要な道路である。会長である私が先頭に立ち、整備推進を国に強く働きかけていく。



カムチャッカ半島沖の地震による津波警報を踏まえ、伊豆半島南部の人の避難に不安を覚えた。ガソリン暫定税率の廃止は民意であり、進めていくべきだが、国土強靱化実施中期計画の20兆円超の予算は確保していかなければならない。



能登半島地震を踏まえ、伊豆半島にとって伊豆縦貫自動車道は命の道路であると自覚しなければならない。ガソリン暫定税率はいつしか恒久財源となっているが、これを廃止し国が地方に影響が出ないよう仕組みを変える必要がある。



今年の3月に半島振興法が10年ぶりに改正された。内容には「国土強靱化基本法と調和して」と明記させていただいた。これにより国土強靱化実施中期計画の20兆円超の予算に我々の伊豆半島を含むことができる。



昨年の12月頃に河津下田道路Ⅱ期の一部供用区間を通った。道路は繋がってこそ効果を発揮するものであり、繋がらなければ意味がない。半島における道路は未だ脆弱であり、伊豆縦貫自動車道の日も早い全線開通を望む。